

令和2年度 婦人相談所等指導者研修(案)

- 〔日程〕 令和3年2月17日(水)～2月19日(金)
 〔会場〕 受講者の職場・自宅等(Zoomによるオンライン研修)
 〔対象者〕 暴力・虐待の被害等を受けた母子に対する保護・支援の中核を担う行政機関の指導的立場の職員(婦人保護事業の実施機関である婦人相談所等の所長や相談指導員等)
 〔定員〕 20名
 〔ねらい〕 婦人保護の中核を担う行政機関の指導的職員(所長や相談指導員等)が、暴力・虐待の被害等を受けた母子に対する保護支援の充実にむけて必要となる知識・手法を修得することを目的とする。
1. 婦人保護事業およびDV対策の動向、実施機関(婦人相談所等)の役割を説明できる。
 2. 暴力・虐待の被害等を受けた女性と同伴児童へのケアの基本的な視点と、それをふまえた一時保護の実施について、説明できる。
 3. 暴力・虐待の被害等を受けた母子の保護・支援における関係機関(性犯罪被害者の支援機関含む)との連携・協働の意義をふまえ、現状の事業運営の課題を整理し、提示できる。
 4. 所属組織ないし地域における保護支援における連携の課題をふまえ、保護支援の充実にむけた組織的取組みに関する企画を、具体的に立案することができる。

日 時	研 修 科 目	講 師 名	備 考	
2月17日(水)	9:30～9:50(20分)	研修全体についてのオリエンテーション	国立保健医療科学院	
	9:50～10:20(30分)	Zoomを利用したグループワークに関するオリエンテーション	国立保健医療科学院	
	10:30～12:00(90分)	【総論 ねらい1】 婦人保護事業・婦人相談所の今日的課題について	厚生労働省 子ども家庭局 家庭福祉課	
	13:00～14:00(60分)	[ねらい2, 3] 女性・同伴児童の保護支援および関係機関との連携協働の現状と課題①(グループワーク)		・自己紹介 ・事前課題3(1)(2)②③の共有
	14:15～15:45(90分)	[ねらい2, 3] 若年女性支援を行う民間機関における実践と婦人相談所との連携	外部講師	・若年女性支援の現状 ・若年女性への対応の基本的な知識・方法 ・若年女性支援において婦人相談所(婦人保護実施機関)に期待したいこと
	16:00～17:30(90分)	[ねらい2, 3] 性暴力被害者支援における関係機関連携	外部講師	・性暴力被害の現状 ・被害者を誰が・何処が、どのように受け止めているのか/いないのか ・被害者対応の基本的な知識・方法 ・被害者支援において婦人相談所(婦人保護実施機関)に期待したいこと
2月18日(木)	9:00～10:30(90分)	[ねらい2, 3] DV被害母子への心理的支援の考え方、必要な知識、具体的な支援方法	外部講師	・DV被害者・性暴力被害者の支援に共通する対応(トラウマケア)についての基本的な考え方 ・トラウマケアの段階(緊急時・初期～中長期)のなかで婦人相談所が主に果たす役割と実践
	10:45～12:15(90分)	[ねらい2, 3] 婦人保護(母子支援)に関する関係機関(児童相談所等)との連携	外部講師	・DV被害母子の母子関係の支援(特に子どもへのケア・支援との調整)の立場からみた、ケアのあり方、関係機関連携のあり方
	13:15～17:15(240分)	[ねらい3, 4] 一時保護およびその後の女性と子ども等の支援にむけた課題分析(グループワーク)	外部講師・ 国立保健医療科学院	
2月19日(金)	9:00～10:00(60分)	[ねらい2, 3] 関係機関との連携協働の現状と課題②(グループワーク)	国立保健医療科学院	・初日のグループワークと初日・2日目の講義の振り返り ・連携のポイントを考察
	10:15～12:00(105分)	[ねらい2, 4] 保護支援の充実にむけた連携の課題克服・強化のための取り組みについて～事業企画演習(グループワーク)	国立保健医療科学院	・事前課題3(2)⑤や初日・2日目の講義・演習を踏まえて課題克服・強化のための企画を立案
	13:00～14:30(90分)	[ねらい2, 4] グループワーク報告会	国立保健医療科学院	
	14:45～15:15(30分)	[研修のまとめと修了時評価]	国立保健医療科学院	